



# 令和6年度事業計画

社会福祉法人みどりの樹

# もくじ

法人全体	2
多機能事業所ループ	9
多機能事業所ループ奏	11
生活介護事業所さつき	13
生活介護事業所まつぼっくり	14
放課後等デイサービス事業所あざみ	15
日中一時支援事業所あるば	16
はまきた地域活動支援センター	17
相談支援事業所ぼるた	18

# 社会福祉法人みどりの樹 令和6年度事業計画

## 基本理念 誰もが生き生きと暮す街に

---

障がいがあってもなくても誰もが生き生きと暮せる街づくりの一端を担う

## 行動指針 スマイル & ネバーギブアップ

---

- ・利用者の笑顔・お客様の笑顔が、私たちの元気の源です
- ・利用者主体の視点を大切にします
- ・質の高い商品をお客様に提供します
- ・何事にもあきらめずに取り組むことを約束します

## 令和6年度職員スローガン 倫理綱領・行動規範を読み込み、支援の自己点検をしよう

---

令和5年度に、みどりの樹の支援者としての倫理綱領とその行動規範を設置しました。今年度はその内容を読み込み、それぞれの支援のあり様を都度自己点検し、立ち返る場所としていく習慣をつけていきます。そのうえで、基本理念の実現に向けて支援者としてのアクションを思い描けるようになることを目指します。

## 重点取り組み① 組織の再編とガバナンス再構築

---

今年度より、組織再編をします。行う事業内容や目的などに変更はありませんが、内部統制として、誰がどの責任をもち決裁していくのかを明確にするとともに、それがどの事業所でも同じように実践できるよう、画一化した仕組みを整理していきます。職務の分掌を明確にすることで、より役割に注力した実践につなげ、支援の質の担保を実現する一助としていきます。

## 重点取り組み② IT活用によるバックオフィスの省力化、効率化の実現

---

労務・人事、経理を中心に積極的にIT化を進め、バックオフィス関連業務を省力化していきます。また、支援現場と事務局の事務分担の在り方も再編し、事務局集約型に再編して効率化を目指していきます。このことにより、支援現場では対人援助そのものにこれまでより注力できるような体制を実現します。

## 重点取り組み③ 人材育成に向けた取り組み

---

組織再編と並行して、人材育成にも力を入れていきます。組織を再編することで新たなキャリアパスを構築し、それぞれが目指したいもの・ことを明確に描けるようになることを目指します。また、階層や興味・関心、求められているものに沿ったスキルアップを実現するための内部研修システムを構築します。

## 重点取り組み④ 相談支援センターへの職員派遣と、自立支援協議会への積極的関与

浜松市障がい者相談支援センター事業について、他法人と共同企業体を組織し、浜北エリアと天竜エリアの2か所に相談員を派遣します。また、相談員とともに地域の自立支援協議会（連絡会）に、サービス管理責任者等を中心として積極的に関わり、地域課題解決に向けて主体的に取り組むことを目指します。

### 事業種類・定員

事業所名	種別	事業内容（事業名称）	定員	計
多機能事業所ループ	指定サービス	就労移行支援事業（ライム）	6	30
		就労継続支援B型（ライム・なないろカフェ）	24	
多機能事業所ループ奏	指定サービス	生活介護事業（るるる）	10	20
		就労継続支援B型（ららら）	10	
さつき	指定サービス	生活介護事業	20	
まつぼっくり	指定サービス	生活介護事業	20	
本部拠点	指定サービス	放課後等デイサービス事業（あざみ）	10	
		特定相談支援事業（ぼるた）	—	
	浜松市地域生活支援事業	日中一時支援事業（あるば）	7	
		地域活動支援センターI型	(20)	
	派遣	浜松市浜北障がい者相談支援センター 浜松市天竜障がい者相談支援センター	—	

### 職員

	計	男	女	平均年齢
常勤職員	27人	8人	19人	39.4歳
非常勤職員	34人	8人	26人	57.1歳
計	61人	16人	45人	46.9歳

### 職員配置（令和6年4月1日時点）

	ループ	ループ奏	さつき	まつぼっくり	あざみ	あるば	特定相談	はまきた地活	相談派遣	合計	
統括管理					1					1	
施設長	1	1	1	1	1		1	1	—	7	
常勤	専従	3	3	3	2	2	0	1	1	2	18
	兼務	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
非常勤	専従	7	7	7	2	6	3	1	1	0	34
	兼務	0	2	1	2	0	0	0	0	0	5
常勤換算	8.4	7.7	8.6	3.8	4.9	1.5	2.5	2.6	1.0	41.0	

## 利用者数（計画値）

事業名	定員	R5 年度平均 利用者数（人/日）	R6 年度計画 利用者数（人/日）	R5→R6 対比	R6 年度 稼働率見込
就労移行支援	6	0.7	1.0	+0.3	16.7%
就労継続B型 （ライム・なないろカフェ）	24	22.4	23.0	+0.6	95.8%
生活介護（さつき）	20	18.3	19.0	+0.7	95.0%
生活介護（まつぼっくり）	20	10.2	13.0	+2.8	65.0%
生活介護（るるる）	10	9.9	10.0	+0.1	100.0%
就労継続B型（ららら）	10	8.3	9.0	+0.7	90.0%
放課後等デイサービス	10	11.0	10.0	△0.0	100.0%
日中一時支援	7	3.5	4.5	+1.0	64.3%
地域活動支援センター	(20)	9.9	11.0	+1.1	—
特定相談	—	72.8	60.0	△12.8	—

※特定相談の数値は、月の平均件数 ※R5年度はR6年2月末までの実績値

## 資金収支予算規模

	収入	支出	収支差額
事業活動による収支	278,466 千円 (262,080 千円)	256,650 千円 (242,878 千円)	21,816 千円 (19,202 千円)
施設整備等による収支	0 千円 (1,800 千円)	13,686 千円 (17,538 千円)	△13,686 千円 (△15,738 千円)
その他の活動による収支	0 千円 (0 千円)	373 千円 (317 千円)	△373 千円 (△317 千円)
当期資金収支差額	—	—	7,156 千円 (2,546 千円)

（ ）内は、令和5年度当初予算

## 施設整備、大規模修繕、固定資産整備計画

事業所名	種別	金額（円）	詳細	財源
ループ	なし			
ループ奏	なし			
さつき	なし			
まつぼっくり	なし			
本部拠点	なし			
	合計	0		

## 借入金償還計画

借入先	当期償還額	利息	利息補給	当期末残高	用途
福祉医療機構	6,072,000	564,817	0	56,166,000	本部拠点建物新築工事
静岡銀行	4,134,000	356,100	350,000	14,296,000	
静岡銀行	3,480,000	280,000	0	50,050,000	ループ奏新築工事

## 会議等

会議名	構成員	頻度／時期
理事会	理事、監事	5月、11月、3月
評議員会	評議員、監事、理事長、業務執行理事	6月、3月
評議員選任・解任委員会	理事長、業務執行理事、委員	4月、適宜
経営会議	理事長、統括管理責任者、事務局	月1回、適宜
施設長会議	理事長、統括管理責任者、事務長、施設長	毎月 第1月曜
法人全体会議	理事長、常勤職員	6月、11月、3月
職員会議	部門ごと、所属職員	部門ごとに設定
監事監査	監事、理事長、業務執行理事他	5月、11月
苦情解決委員会	業務執行理事、監事、コンプライアンス委員	年1～2回、適宜
虐待防止委員会 身体拘束適正化検討委員会含	虐待防止責任者、施設長、サビ児管、 コンプライアンス委員	年1回、適宜

## 委員会活動

委員会名	内容
防災委員会	・BCPの見直しと改訂作業 ・救命救急講習の実施 ・各所防災訓練の徹底と実施の主導
研修委員会	・法人全体研修の企画・立案 ・法人内事例検討会の実施 ・外部研修報告動画作成
Mラーニング 企画運営委員会	・研究実践者の選定 ・法人内研究報告会の企画立案
Special Learning 委員会	・Special Learning の導入準備と管理 ・職員別研修パッケージの立案・進捗管理
広報委員会	・みどりの樹つうしん（機関誌）の定期作成・発行 ・法人ホームページの定期更新等管理 ・各事業所パンフレット作成
コンプライアンス委員会	・倫理綱領の浸透に向けて ・ストレスチェックの継続 ・虐待防止委員会への参画 ・苦情解決について再考

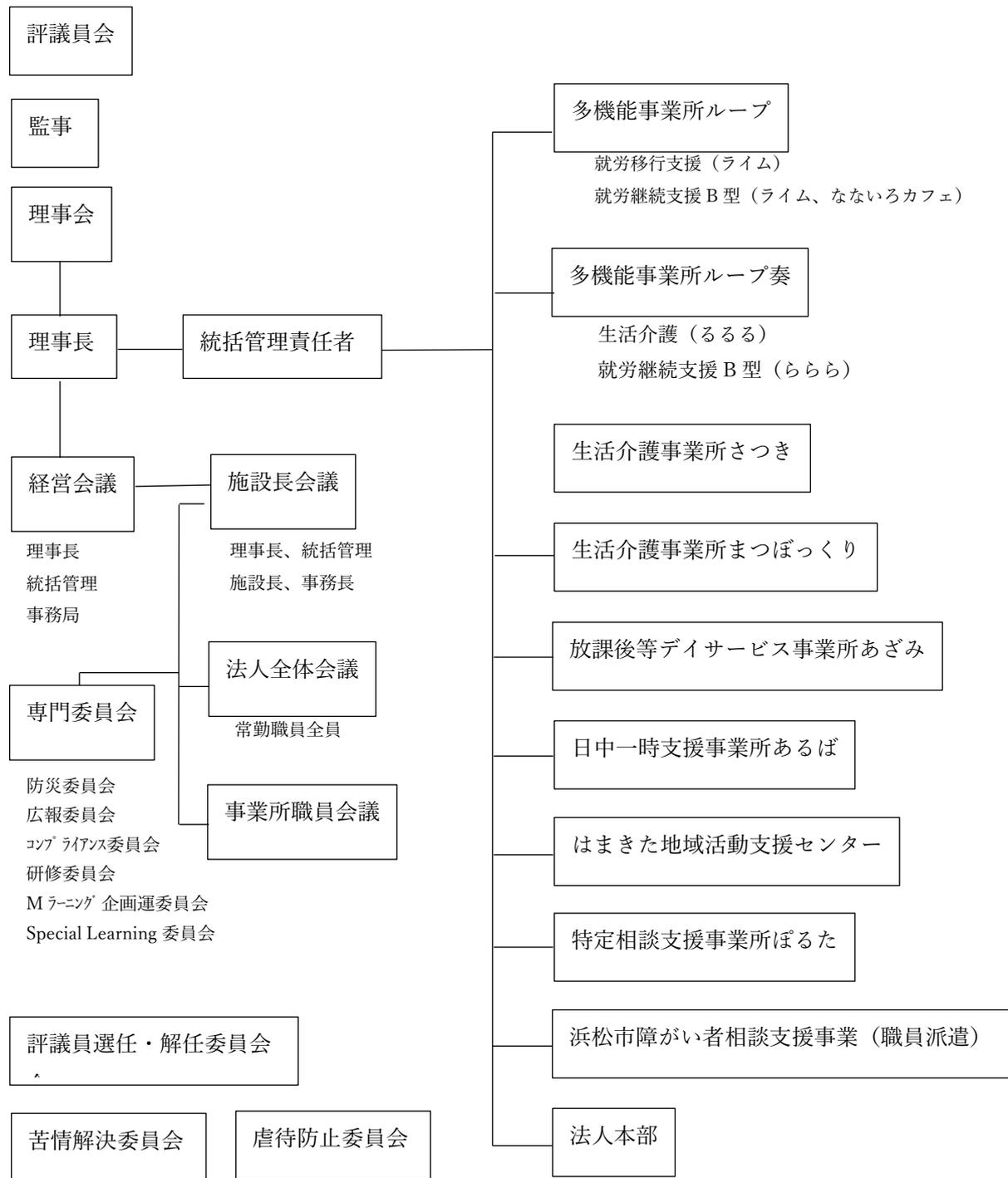
## 職員研修計画

事例検討会	年 4 回	みんなで検討する経験を通して、考え抜く力・議論する力をつける。 また広い視野を得て新鮮な気持ちで明日の支援に向かえるようにする
外部研修報告会	年 3 回	外部研修（ZOOM 含む）参加者が研修内容の報告発表することによって、個々の学びを深め、知識・情報を法人全体で共有する。動画撮影によるオンデマンド方式も適宜活用する
虐待防止研修	年 1 回	虐待防止委員会が主催し、委員会の中で抽出された課題への取り組みや職員全体の意識の向上を目指す。 ※身体拘束等の適正化も兼ねて開催
法人全体内部研修	年 1 回	研修委員会にて企画立案し、職員全体のスキルアップにつながり組織力を向上させることを目的に行う。
外部研修・その他	適宜	法定研修をはじめ、自立支援協議会が発信するものや、その他の外部研修の情報について、必要に応じ積極的に参画する。

## 地域における公益的な取り組みの推進

今年度も本部拠点を会場に「照個屋(てらこや)」の実施を企画してまいります。また、学習支援の活動場所の提供や教育機関への障がい福祉理解啓発活動にもつながるような地域活動は、積極的に継続してまいります。他に、法人の垣根を超えた連携の中で、地域に還元できる取り組みも協働し得る団体と議論を進めてまいります。

# 法人組織図



## 行事計画（予定）

月	対外活動、レクリエーション企画	防災訓練
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お花見（さつき・まつぼっくり）</li> <li>・はじめの会（あるば・あざみ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あざみ避難訓練</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会（さつき、まつぼっくり）</li> <li>・子どもの日の会（あるば・あざみ）</li> <li>・飛竜祭り（ループ、まつぼっくり）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あざみ避難訓練</li> </ul>
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練（地震想定）</li> <li>・あざみ避難訓練</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜北合同スポーツ交流会（ループ、ループ奏、さつき、まつぼっくり）</li> <li>・七夕会（各事業所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あざみ避難訓練</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑気払い、大掃除（ループ、ループ奏）</li> <li>・お疲れ様会（まつぼっくり）</li> <li>・さつき de 夏まつり（さつき）</li> <li>・夏まつり（まつぼっくり、ループ奏）</li> <li>・外食体験（あるば・あざみ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あざみ避難訓練</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいレクリエーション大会（ループ、ループ奏、さつき、まつぼっくり）</li> <li>・お月見会（あるば・あざみ）</li> <li>・地域交流会(仮称)（ループ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あざみ避難訓練</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日帰り旅行（ループ）</li> <li>・さつき de 運動会（さつき）</li> <li>・ハロウィン（ループ、ループ奏、）あるば・あざみ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練（水害想定）</li> <li>・あざみ避難訓練</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照個屋（法人本部拠点）</li> <li>・浜北ふれあい広場(法人全体)</li> <li>・元氣ライブ（ループ奏、さつき、まつぼっくり）</li> <li>・協働センターまつり（ループ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あざみ避難訓練</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス会（法人合同）</li> <li>・大掃除（各事業所）</li> <li>・クリスマス会（あるば・あざみ）</li> <li>・お疲れ様会（さつき、まつぼっくり）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災参加</li> <li>・あざみ避難訓練</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初詣（各事業所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あざみ避難訓練</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豆まき（各事業所）</li> <li>・保護者会（ループ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練（火災想定）</li> <li>・あざみ避難訓練</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日帰り旅行（ループ奏、さつき、まつぼっくり）</li> <li>・ひなまつり会（あるば・あざみ）</li> <li>・卒業生を送る会（あるば・あざみ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あざみ避難訓練</li> <li>・緊急連絡訓練（職員）</li> </ul>

# 多機能事業所ループ

## 基本方針

---

### 就労移行支援（ライム）

2年間の有期限の中で、一般企業への就職を目指す方の職業訓練・就職活動支援・定着支援・就労後のフォローアップなどを行います。ハローワークなどをはじめ、関係機関との連携を生かし、マッチングを最重要ポイントとして取り組んでいきます。

### 就労継続支援B型（ライム、なないろカフェ）

一般企業ではたらくことが困難な方が、自分らしく能力を発揮してはたらくことができるように支援していきます。生産活動を行う中では、利用者の所得保障という視点でできるだけ多くの工賃をお支払いできるような営業展開をしていきます。

## 具体的活動内容

---

### 就労移行支援（ライム）

ライム内での作業訓練を基軸に、生活リズムの安定を図りながら、あいさつ・返事・報告などから職業スキルの習得に取り組めます。就職活動に関しては、ハローワークの登録から面接まで可能な限り同行し、サポートをしていきます。また、就労後のフォローアップでは、他事業との連携や制度の活用を通して、現場訪問や生活支援などを丁寧に行っていきます。

### 就労継続支援B型（ライム、なないろカフェ）

#### （就労訓練活動）

利用者のやりがいや責任感、積極性につながるよう、役割をもって作業に取り組むことができるような活動を心がけます。

- ・弁当の製造・販売…業務内容については例年通りに行います。時間を意識し、盛り付けや仕上がりなどを丁寧にいきます。衛生管理を徹底し、安心安全でおいしい弁当をお届けできるように努めます。
- ・下請作業…既存の取引に加え、利用者にとってやりがいを感じられるような新たな作業も検討していきます。納期や精度、生産数や環境整備を意識して、取引先から信頼される活動を心がけます。
- ・利用者の作品を活かし製品づくり、販売に向けて、準備していきます。
- ・喫茶業務…なないろカフェの運営業務を例年通り行います。地域の方に親しみを持っていただけるような営業展開、啓発ができるように心がけます。

#### （レクリエーション活動その他）

主に土日を使って、様々な課外活動やレクリエーションを行います。また、七夕や節分など季節を感じられるような行事を活動時間内に取り入れることで、リラックスする時間とはたらく時間のメリハリをつけたり、楽しみがあるというモチベーションにつなげたりしていきます。他に、地域の皆様にもライムをより知っていただけるよう、地域のイベントなどにも積極的に参加していきます。

## 重点目標

---

### 1) 利用者支援について

#### 就労移行支援（ライム）

- ・日々のかかわりやアセスメント、定期面談や特化プログラム SSP を通して、その人を知り、その人がどうなりたいか、どんなはたらき方をしたいのかを一緒に考えます。
- ・企業または他事業所の見学や体験、実習を通して、自分らしいはたらき方やはたらく場所を探し、見つけ出します。
- ・就職後も、自分らしく、自信をもってはたらき続けられるよう、アフターフォローを丁寧に行います。

### 就労継続支援B型（ライム、なないろカフェ）

（ライム）

- ・みんなで気持ちよくはたらくことができるよう、お互いに声をかけ、励まし助け合う関係作りをします。
- ・一人ひとりの好きなこと、得意なこと、不得意なことその人らしさを見つけ、利用者の“なりたい”“やりたい”“がんばりたい”を引き出し、伸ばします。
- ・一人ひとりがやりがいを感じはたらくことができるよう、成果を認め言葉にして伝えていきます。

（なないろカフェ）

- ・元気な挨拶はもちろんのこと、スタッフ間やお客様へ、思いやりのある言葉遣いを意識していきます。
- ・本人の得意分野を伸ばし、新たに発見しながら、「やってみたい」ことを聞き取り、形にすることでやりがいを感じてもらいます。
- ・外食、外出など、利用者の希望することをレクリエーションで企画。楽しんでもらう事で、仕事へのモチベーションアップにつなげていきます。
- ・喫茶の売上を伸ばすことで、利用者への工賃アップを目指します。

### 2) 地域とのつながりについて

#### 就労移行支援（ライム）

- ・他事業所や他機関、企業等との情報共有や関係づくりに努めます。
- ・これまでのつながりとこれからのつながりを大切にします。

#### 就労継続支援B型（ライム、なないろカフェ）

（ライム）

- ・地域の方と顔を合わせたら、元気にあいさつをし、今あるつながりを継続・強化して大切にします。
- ・地域のイベントに参加したり、交流会を設けたり、地域の方々とのつながりを強化します。

（なないろカフェ）

- ・アンテナショップとして、SNSなどのコンテンツを駆使しながら、お店の啓発活動をマメに発信していきます。
- ・状況に応じ、飲食スペースを貸切状態に変えて団体様が安心して利用、食事ができるサービス形態を実施していきます。
- ・お客様のご意見を集約し取り入れながら、ニーズに合わせた商品展開、利便性の向上や、より気軽に立ち寄れるお店作りを進めていきます。
- ・午後の時間帯を地域活動支援センターの活動の場として開放し、ほっと心休まる場所、人との交流の場を提供します

### 生産活動

項目	内容	売上目標 / 年
弁当	ぬくもりごはん、まかない丼、仕出し弁当の製造・販売	18,000,000 円
カフェ	なないろカフェの運営、喫茶業務、雑貨・菓子類販売	6,000,000 円
請負業務	自動車、オートバイ部品等の組立、梱包、バリ取り	2,000,000 円

## 利用者工賃

---

	工賃見込（月額平均）	工賃見込（時給換算）
就労移行（ライム）	20,000 円	270 円
就労継続支援B型（ライム）	31,000 円	310 円
就労継続支援B型（なないろカフェ）	34,000 円	350 円

※月額平均は、平均利用者数から算出

## 目標就職者数と目標職場定着率

---

目標就職者数…1名 目標職場定着率…100%

# 多機能事業所ループ奏（生活介護るるる 就労継続支援 B 型ららら）

## 基本方針

---

利用者自身が日々の生活を楽しく、穏やかに、充実しながら過ごせる・少しずつでも成長していくための支援を心がけていきます。

奏での活動の中で利用者のペースやニーズに合わせて出来る事から取り組んでいき、得意を伸ばし、はたらく事の楽しさや役割を担う達成感を得たりすることにより充実した日常を送ることが出来るよう支援していきます。また、活動の中には楽しいだけでなく、はたらく・同じことを続けるという忍耐力、家とは違う場所で過ごすための社会性など様々な力が必要になります。奏の中での活動を通し、個々に合った様々な力をつけたり、伸ばしたり出来るよう支援も行っていきます。

## 具体的活動内容

---

### （生活支援）

- ・一日の最後に「オフの時間」を設け、それぞれにリラックスした時間を過ごすことができるよう、散歩やストレッチなどの運動、音楽、リラクゼーションなどの活動を提供します。（生活介護）
- ・季節ごとに創作活動を行い、玄関など事業所内に展示して事業所に季節の彩を入れていきます。また、外出の機会を設け、季節を感じながら過ごせる機会を設けます。
- ・排せつや食事のケアなどを通じ、清潔に気持ちよく過ごせるようにしていきます。
- ・掃除・洗濯など日々の活動で行っていることや、調理などレクリエーションの時間で取り組めることを通して、生活力の向上を目指します。
- ・他者と関わる事が多い環境の中でコミュニケーションや社会性の向上も目指します。
- ・心身の不調について、困りごとについてなど、安心して話せる環境を整えます。

### （作業活動）

- ・部品組み立て等の請負作業を中心に行います。
- ・「作業の時間」では、やってみたい、がんばりたい気持ちを大切にします。

- ・個々に合わせた作業を提供し、安心して落ち着いて取り組めるよう環境を整えます。
- ・毎日の生活の中で役割を持ち、作業だけではなく「はたらく」を大切にします。

#### (就労訓練活動)

- ・これまで同様に、公立高校の購買部の運営と、部品組み立て等の請負作業を行います。
- ・個々のペースを尊重し、継続して取り組むことを大切にしていきます。
- ・自分の得意なこと、苦手なことを知ること、チャレンジする気持ちを大切にします。
- ・作業以外の就労訓練も目を向け、はたらく人としての力を培います。

## 重点目標

---

### 1) 利用者支援について

- ・個々の目的や目標を尊重し、個別支援計画に沿った支援ができるよう、職員会議の時間を充実していきます。
- ・お互いの違いを認め合えるような環境づくりに努めます。

### 生活介護（るるる）

- ・作業を通して、ご自身が社会に参加をしていることを自覚し、家以外の自分の居場所として確立できる環境を提供していきます。
- ・個々の過ごし方を尊重し、それぞれに充実した生活ができるように支援していきます。

### 就労継続支援B型（ららら）

- ・それぞれの「はたらく」に寄り添いながら、目標をもって活動に取り組めるよう支援していきます。

### 2) 地域とのつながりについて

- ・散歩に出掛け、元気な挨拶をし、奏周辺のごみ拾いや通信配布などに取り組みます。
- ・地域に出て活動することで、地域のみなさんに奏のことを知ってもらえるよう意識して行動します。

## 生産活動

---

項目	内容	売上目標 / 年
請負作業	自動車、オートバイ部品等の組立、バリ取り等	1,500,000 円
高校購買部	購買販売	2,200,000 円
販売	企業での食品等販売	50,000 円

## 利用者工賃

---

	目標工賃（月額平均）	目標工賃（時給換算）
生活介護（るるる）	3,000 円	100 円
就労継続支援B型（ららら）	10,000 円	150 円

※月額平均は、平均利用者数から算出

# 生活介護事業所さつき

## 基本方針

---

- ・本人が自分らしく安心して過ごせるよう支援します
- ・作業活動を通して「働く」ことに「楽しさ」が感じられるよう支援します
- ・さつきを地域の方々に知ってもらえるよう意識して活動を行います

## 具体的活動内容

---

### (作業活動)

- ・ホワイトボードを活用し、一日のスケジュールを可視化して共有します
- ・視覚的な説明など、特性に配慮した見て分かる環境を整備します
- ・作業への取り組み方に配慮することで、作業に携わる時間を確保します

### (生活支援)

- ・連絡ノートや自宅送迎時の時間を活用し、家族との情報共有を行います
- ・一日の活動のなかで、身体を動かす時間を取り入れ、健康づくりの取り組みを支援します
- ・定期的な健康チェックを行い、家庭と共有することで、健康管理への意識向上に努めます

## 重点目標

---

### 1) 利用者支援について

- ・適切な支援を提供するため、職員間で情報を共有し、統一した支援を行います
- ・職員それぞれが、事故や怪我を未然に防ぐための環境整備・声掛けを常に意識して行動します
- ・本人の居場所づくりとして、施設内でのコミュニティが広がるよう支援します

### 2) 地域とのつながりについて

- ・地域の防災訓練に参加します
- ・地域の方々につうしんの配布を行います
- ・啓発や広報活動の一環として、地域に出て活動を行います

### 3) 家族同士のつながりについて

- ・コロナ以降、家族同士のつながりが持てる機会が無くなってしまって残念という声があるため、利用者と家族が一緒に参加できるような企画を行います。

## 生産活動

---

項目	内容	売上目標 / 年 (円)
おからクッキー	おから入りクッキーの製造、販売	1,300,000
請負業務	自動車、オートバイ等の部品組み立て、バリ取り作業	1,100,000
	計	2,400,000

## 利用者工賃

---

	月額平均	時給換算
工賃見込額	4,500 円	100 円

## 生活介護事業所まつぼっくり

### 基本方針

---

- ・社会とつながる手段としての「はたらく」ことの意味を考え続け、本人の想いを中心としたはたらく環境づくりと、本人にとっての居場所づくりに努めます。
- ・一人一人の個性を尊重した支援、集団の力を活かした支援両面に力を入れ、お互いに成長し認め合える雰囲気作りを目指します。
- ・建物の建て替えを視野に入れ、今後地域の方々が集えるような場所づくりを目指していきます。

### 具体的活動内容

---

#### (作業活動)

- ・職員がパン作りの基本的な知識を学び、学んだことを活かしていくことでパン・焼き菓子の品質向上・新商品開発につなげ利用者の工賃確保をしていきます。
- ・利用者が関わる過程を大切にし、一人一人に合った作業内容を見つけできることを増やしていくことで本人の自信につなげていきます。
- ・焼き菓子の販売先を開拓し配達を増やしたり、高校の購買の販売に行くことで利用者の活躍の場所を増やします。

#### (生活支援)

- ・利用者の発信を常に受けとめ利用者同士や職員とのコミュニケーションの時間を大切にしていきます。
- ・毎月実施している体重・血圧測定を継続し、数値の変動を家族に報告しながら体調の変化に留意します。健康のため帰りの会の前に体操やストレッチをする時間を設け、散歩も取り入れていきます。
- ・季節の行事を取り入れ、利用者が楽しめる活動を行います。

### 重点目標

---

#### 1) 利用者支援について

- ・利用者の発信を常に受けとめる姿勢を持ち、コミュニケーション技術の向上に努めコミュニケーション保障と情報保障に努めます。
- ・利用者の意思決定を尊重するために、イラスト・写真・時計など視覚的な支援を取り入れながら、自分で選択できることを増やしていきます。
- ・一人一人の想いを受けとめながら、利用者同士がお互いに助け合え成長できる雰囲気作りに努めます。

## 2) 地域とのつながりについて

- ・廃品回収を年に4回行ない、利用者も当番制で対応し地域の方との交流を深めます。
- ・季節ごとにパンのチラシを作成し、善地町内会の皆さんにまつぼっくりの存在をアピールし続けます。
- ・まつぼっくり周辺のお宅へ利用者と一緒に通信を届けます。
- ・パンの配達、廃品回収の引き取りを高齢者のお宅中心にやっていくことをお知らせします。
- ・インスタグラムの発信を定期的に行っていきます。
- ・お客様との会話を大切に、この地域で求められていることを探っていきます。

## 生産活動

項目	内容	売上目標 / 年 (円)
パン	パン、紅茶・胚芽・玄米クッキーの製造販売	6,700,000
その他	イス脚カバーの製作、販売	5,000
	計	6,705,000

## 利用者工賃

	月額平均	時給換算
工賃見込	15,000 円	300 円

# 放課後等デイサービス事業所あざみ

## 基本方針

児童福祉法に基づき、障がいを持った児童を対象として学校終了後と土曜日や祝日等の学校休業日に事業を行います。「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域を全て含めた総合的な支援を基本とし、子どもの発達過程や特性を理解した上で一人一人の状況に応じた子どもが持っている力を伸ばせるように支援していきます。子どもと支援者の信頼関係を築き、安心して過ごせる環境の中で少しずつ成長していく姿を家族と共有して喜びを分かち合っていきます。

## 具体的活動内容

### 1) 利用者支援に関する内容

- ・5領域とのつながりを明確化した個別支援計画に基づいて、職員間で具体的な支援内容を共有し、子どもたちが戸惑わないように統一した支援を行います。
- ・その日の子どもの状況に合わせて集団活動（動の遊び）、リラックス、安定のための個別活動（静の遊び）のプログラムを組み合わせた支援を行います。
- ・散歩、園庭等で自然と触れ合える機会を設け季節の変化を楽しみます（焼き芋、水遊び、草滑り花摘みなど）

## 2) ご家族及び関係機関等との連携に関する内容

- ・事業所での子どもの様子から職員が感じる変化や成長を日々のお迎え時や送迎時にお伝えし、家での様子を伺いながら日々の支援内容を共有していきます。
- ・全ての利用者が浜北特別支援学校に在籍している為、毎日の学校への送迎時の引継ぎや夏休みの情報共有の機会を継続していきます。
- ・浜松市障がい児放課後支援連絡協議会が開催する研修に参加し、支援の質の向上に努めます。

## 重点目標

---

### 1) 利用者支援に関する内容

- ・5領域とのつながりを明確化した事業所全体の支援内容を示す支援プログラムを作成します。
- ・子どもたちの「やってみたい、作ってみたい」という気持ちを大切に受け止め、表現する楽しさや達成感を味わうことができるように支援します。
- ・子どもたちがことばや体の動き等自分なりの方法で気持ちを伝えたり、場面に合わせた言葉を発する力を身につけられるように支援します。
- ・子どもたちががんばっていることや良いところを褒めることを意識的に取り組みます。言葉がけが必要な場面では伝え方に配慮し、その後気持ちが不安定にならないように支援します。

### 2) ご家族及び関係機関等の連携について

- ・子どもの現在の様子や将来への心配などご家族の不安な気持ちを聴く機会を定期的に取り、一緒に考えていきます。
- ・支援の質を高めるためにサービス等利用計画を作成する相談支援専門員との連携を大切にします。

# 日中一時支援事業所あるば

## 基本方針

---

浜松市の地域生活支援事業として委託を受けて事業を行います。一時的に子どもを預かることで日常的に介助しているご家族の一時的な休息を目的としています。

また、放課後等デイサービスあざみだけでは利用希望者の受入可能人数が限られてしまうため、日中一時支援事業を一体的に実施することで1人でも多くの希望者を受け入れたり、家庭の事情等により1ヶ月の利用希望日数が受給者証の支給決定日数を超える場合に超えた日数だけ利用できることも目的としています。

## 具体的活動内容

---

### 1) 利用者支援に関する内容

- ・職員間で具体的支援内容を共有し、子どもたちが戸惑わないように統一した支援を行います。
- ・その日の子どもの状況に合わせて集団活動（動の遊び）、リラックス、安定のための個別活動（静の遊び）のプログラムを組み合わせた支援を行います。

- ・散歩、園庭等で自然と触れ合える機会を設け季節の変化を楽しみます（焼き芋、水遊び、草滑り花摘みなど）

## 2) ご家族及び関係機関等との連携に関する内容

- ・事業所での子どもの様子から職員が感じる変化や成長を日々のお迎え時や送迎時にお伝えし、家での様子を伺いながら日々の支援内容を共有していきます。
- ・全ての利用者が浜北特別支援学校に在籍している為、毎日の学校への送迎時の引継ぎや夏休みの情報共有の機会を継続していきます。

## 重点目標

---

### 1) 利用者支援に関する内容

- ・子どもたちの「やってみたい、作ってみたい」という気持ちを大切に受け止め、表現する楽しさや達成感を味わうことができるように支援します。
- ・子どもたちがことばや体の動き等自分なりの方法で気持ちを伝えたり、場面に合わせた言葉を発する力を身につけられるように支援します。
- ・子どもたちのがんばっていることや良いところを褒めることを意識的に取り組みます。言葉がけが必要な場面では伝え方に配慮し、その後気持ちが不安定にならないように支援します。
- ・支援の質を高めるためにあざみと同様に必要に応じて個別支援計画の作成に取り組みます。

### 2) ご家族及び関係機関等の連携について

- ・子どもの現在の様子や将来への心配などご家族の不安な気持ちを聴く機会を定期的を作り、一緒に考えていきます。
- ・支援の質を高めるためにサービス等利用計画を作成する相談支援専門員との連携を大切にします。

# はまきた地域活動支援センター

## 基本方針

---

利用される皆さんが、仲間との出会いを通して自分自身を知り、自分が持っている力を発揮しながら、地域での暮らしを豊かにしていくお手伝いをします

## 具体的活動内容

---

### 1) 基礎的事業

#### ① 創作活動又は生産活動の機会の提供に関する内容

音楽鑑賞会、音楽クラブ、カラオケ、朗読カフェ、ちくちくクラブ、ゲーム会、卓球、初詣等

#### ② 社会との交流の促進に関する内容

いっぶく、昼下がりのいっぶく、青春クラブ、レッツウオーキング等

#### ③ 日常生活に必要な便宜を供与することに関する内容

パソコンクラブ、スイーツメモリー等

## 2) 機能強化事業

- ① 医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整に関する内容  
新規及び現在の利用者に関する委託センターや計画相談事業所等との連携
- ② 地域ボランティア育成に関する内容  
精神保健福祉センターボランティア講座受講生の受入、聖隷クリストファー大学ボランティア受入
- ③ 障害に対する理解促進を図るための普及啓発等の事業に関する内容  
聖隷クリストファー大学社会福祉学部や静岡県厚生連看護専門学校での当事者発表  
笠井中学校発達支援学級への説明をなないろカフェで実施、イエローシートキャンペーン参加

## 重点目標

---

### 1) 基礎的事業について

(午前の活動)

- ・1人1人と向き合い、利用者に合わせた丁寧な支援を心がけ、安心して通える場所にします。
- ・ゆくゆくはステップアップしていくことを視野に入れて、必要な能力を身につける手助けをします。

(午後の活動)

- ・地域活動支援センターに来ることで気分転換をすることができ、「明日からも頑張ろう!」「また行きたい!」と思ってもらえる場所づくりをします。
- ・利用者からの声を大切にし、プログラムの作成に取り組みます。

### 2) 機能強化事業について

- ・ボランティアや地域の人とのつながりをつくり、それぞれが持っている能力を発揮できる機会を設け、顔見知りの関係になり、困りごとがあったときお互いに手を差し伸べる関係を作ります。
- ・実習やボランティアの見学体験の受け入れ、近隣学校への講演を積極的に行い、地域の施設とつながりを持ち、障がい福祉の啓発に努めます。
- ・利用時の様子や少しの違和感を見逃さず、利用者を通じて関係機関と連携し、地域でよりよく過ごしていけるよう支援します。

# 特定相談支援事業所ほるた

## 基本方針

---

障がい福祉サービスを利用されるみなさんが、自分らしくいきいきと充実した暮らしを送るためのお手伝いをします。その為に相談支援専門員として、各種障害福祉サービスを実施する事業所の最新状況や地域の社会資源等利用者にとって有益となる情報の収集に努めます。

## 具体的活動内容

---

一体的な管理運営を行う相談支援センターキャンパスと利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を週1回以上開催します。

障がい福祉サービスの利用を希望される利用者や関係機関、行政等から依頼を受けて、ぼるたとして相談支援を開始します。基本的な相談の流れに基づいて、サービス等利用計画書を作成し、定期的にモニタリングを実施の上、必要に応じて計画内容を見直します。サービス利用計画更新時には、利用者本人・家族・サービス提供事業所等によるサービス担当者会議を開催します。状況に応じて受診同行や各種手続きのサポートも行っていきます。浜松市自立支援協議会、浜松市相談支援専門員連絡会へ所属し、定期的にそれぞれの機関の会議体に参加します。また、浜北障がい者相談支援センターと天竜障がい者相談支援センターに出向している相談員と定期的に地域情報の共有、各自のケースの把握等をしていきます。

令和6年4月から相談支援センターキャンパスと一体的な管理運営を行い、より多様な地域のニーズに対応していける体制を整えます。

## 重点目標

---

### 1) 利用者支援について

利用者、ご家族に希望を伺いながら、利用者自身の自己実現を目指すためのサービス等利用計画を作成します。利用者、ご家族の取り巻く環境の変化に気を配りながら、その時々に必要な支援を検討していきます。困難な事例については、担当相談員が一人で抱え込むことがないように、一体的に管理運営を行う事業所間で実施する会議の場や障がい者相談支援センターに助言を求めながら、利用者にとってより良い提案していきます。

### 2) 地域とのつながりについて

基幹相談支援センター、浜松市相談支援専門員連絡会等が実施する事例検討会や研修等に参加することを通して、地域課題を把握するとともに、相談員の知識、技術向上に努めます。相談業務を通して得られた地域の情勢や感じたことについて、法人職員がより広い視野で地域課題に関心を持っていけるように発信していきます。